

一般質問通告書

令和8年2月24日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 14 番 是永 宙

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
②. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2) 発言事項	オーガニックビレッジ宣言について
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
<p>高島市では、来年度のオーガニックビレッジ宣言に向けた準備が進められていると承知しています。環境に配慮した有機農業の推進は、単に農薬や化学肥料を使わない農業というだけでなく、水環境、土壌、生態系、さらには将来世代の健康を守るために資するとともに、高島の豊かな自然を生かした地域ブランド醸成のためにも重要な取り組みであると考えます。</p> <p>一方で有機農業の推進となれば、その農法の指導や取り組み農家の拡大など「入口」の戦略もさることながら、生産された有機農産品の売り先を確保し、安定した消費と流通の仕組みをどう構築するかという「出口」戦略が重要になると考えます。</p> <p>以下、問います。</p> <p>問1 オーガニックビレッジ宣言をするにあたって、有機農業に取り組む農家を増やすことはもちろんですが、有機農業には至らなくても環境負荷のより少ない農業を取り組</p>	

お農家をいかに増やすかが重要だと考えます。環境負荷の少ない農業に取り組む農家をいかに増やすかについて、どのような検討をしているか問う

問2 オーガニックビレッジ宣言に向けて、本市は 有機農産物の「出口戦略」をどのように描いているのか認識を問う。

問3 学校給食は量・安定供給・品質の面で、ハードルの高い出口である一方、子どもたちの食育や地域理解の観点からも、象徴的な役割を果たすと考えます。そのため学校給食を出口戦略に位置づけ、オーガニック給食を導入するのは重要だと考えますが、見解を問う。

問4 有機農業の推進や農産物の出口戦略、食育、環境保全は、農林部局だけで完結するものではなく、教育委員会、観光部局などとの連携が不可欠だと考えます。オーガニックビレッジ宣言に向けて、部局横断で取り組む体制や共通のビジョンづくりについて、どのように進めていくのか見解を問う

問5 滋賀県も積極的に進めている、世界農業遺産にも認定された「琵琶湖システム」は、琵琶湖の水環境を中心に森林・農地・集落・人の暮らしが相互につながり、循環しながら成り立ってきた地域全体の仕組みで、自然と人間活動が一体となった循環システムです。オーガニックビレッジの取り組みが進むことで農薬・化学肥料の使用量が減ることは、河川や琵琶湖、地下水への環境負荷の低減、琵琶湖への栄養塩流入抑制につながります。つまり有機農業の推進は、琵琶湖システムを守る実践的な手段の一つと言えます。このことから滋賀県が進める琵琶湖システムと協調しながら、オーガニックビレッジの取り組みを進めることで高島の有機農産物の差別化を図り、出口戦略にも資すると考えるが見解を問う。